

# 目次

<u>看護部新人看護師教育目標</u>	<u>1</u>
<u>使用方法について</u>	<u>2</u>
<u>状況確認シート</u>	<u>3~4</u>
<u>入職時オリエンテーションについて</u>	<u>5</u>
<u>チェックリスト項目一覧</u>	<u>6~21</u>
<u>個人研修計画書</u>	

# 中途入職者教育計画

## 看護部の教育理念

1. 主体的、意欲的に行動できる看護者の育成を目指す
2. 社会のニーズに対応できる専門職業人としての知識・技術を養う
3. クリニカルラダーにより、キャリア開発及び個々のレベルアップを目指す

## 目的

1. 当院の特徴を理解し職場の環境になれる
2. 自己の経験を振り返り当院で習得する事項を明確にする
3. 当院でのサポート体制を理解する

## 指導体制

当院は『プリセプターシップ』を導入しています。  
新人看護師のみなさんには担当のプリセプターを中心に指導をしていきます。  
実際の技術や学習の指導は、部署のスタッフ全員で関わっていきます。  
プリセプターは、みなさんが指導を受けやすいようにコーディネートしたり、  
困ったときなどに相談にのってくれる先輩です。  
より良い看護が提供できるよう、一緒に頑張っていきましょう。

## クリニカルラダー研修

当院ではクリニカルラダー制度に基づいて教育を行なっている。（ラダー別研修は別紙参照）  
中途入職者については、入職後1ヶ月以内に所属長とともにラダー表に基づき評価し、  
ラダーの段階（Ⅰ～Ⅳ）を決定する。  
研修への参加については、入職時期を考慮し教育委員長と所属長で検討する。

## 各部署でのオリエンテーション

\*別紙参照

## 個人研修計画書について

- \*中途入職者は入職後、技術・知識項目内容について経験の有無を自己チェックする
- \*経験の無い項目、もしくは経験はあるが指導を希望する項目について、プリセプター・教育担当者・中途入職者と確認をする
- \*技術項目、知識項目については、プリセプター、教育担当者で検討し、当該部署で必要と思われる項目を選択し、達成予定月を明記する
- \*達成予定月には、技術項目、知識項目が確認できるように働きかけていく。
- \*達成・自立と判断された場合は、プリセプター、教育担当者がサインまたは印を押す。
- \*指導計画は、プリセプター・教育担当者・中途入職者と相談の上、業務状況に合わせて修正を行っていく
- \*指導計画は、入職後1カ月、入職後3カ月に評価していき、必要時修正する

## 面談について

\*入職後1ヶ月、3ヶ月に師長、教育担当者、プリセプターとの面談を行います

## 状況確認シートについて

- \*1カ月目、3カ月目の月に進行状況を確認する。
- \*中途入職者が状況確認シートに記入後、プリセプター、教育担当者、所属長に提出後、教育委員長、看護部長に提出する。
- \*該当月の3日までに所属長に提出できるようにする。



【状況確認シートⅡ】

2. 入職3か月

本人のコメント(感想・今後の課題)														
平成    年    月    日														
指導者コメント(感想・今後の課題について)														
平成    年    月    日														
教育担当者コメント														
平成    年    月    日														
所属長コメント														
平成    年    月    日														
追記														
平成    年    月    日														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 15%;">指導者</th> <th style="width: 15%;">教育担当者</th> <th style="width: 15%;">所属長</th> <th style="width: 15%;">教育責任者</th> <th style="width: 15%;">看護部長</th> </tr> <tr> <td style="height: 40px;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					指導者	教育担当者	所属長	教育責任者	看護部長					
指導者	教育担当者	所属長	教育責任者	看護部長										
最終確認	平成    年    月    日 <input type="checkbox"/> チェック項目全項目修了 <input type="checkbox"/> チェック項目未修了項目あり⇒次回確認    平成    年    月 予定 最終全項目修了確認日    平成    年    月    日													

# 中途入職者オリエンテーション項目

## 1. 病院概要

病院基本理念・基本方針、病院目標、病院の構造

## 2. 看護部概要

看護部基本理念、方針、目標

看護体制（病棟の形態、看護部所属、看護方式、院内教育、院外教育、院外学会活動）

看護協会、看護連盟

## 3. 服務規程、専門職業人としてのモラル

各種届出書の説明・自己管理（外来の受診方法）

## 4. 部署の特殊性、目標、

## 5. 部署の構造と設備、避難経路、消化設備

## 6. 部署職員紹介、看護師の役割、看護基準・体制

## 7. 業務概要

1) 日勤、夜勤、月間・週間予定

2) 委員会・係の説明

## 8. 部署内の物品管理

## 9. カルテ、電子カルテ、各種書類

## 10. チーム紹介

構成員、チームの特徴、チーム目標

## 11. 委員会

1) 教育委員会

2) 業務委員会

3) 感染委員会

4) 記録委員会

5) リスク委員会

6) 褥瘡委員会

7) NST委員会

8) 臨床指導者委員会

9) 人材育成委員会

## 中途入職者看護師チェック項目一覧

看護職員として必要な基本姿勢と態度	6
管理的側面	7
看護技術－Ⅰ	8～10
看護技術－Ⅱ	11
脳外科看護	12～16
循環器看護	17～18
整形外科看護	19～20
回復期看護	21
外来看護	22

# 脳神経外科看護に関すること 1

領域		確認・指導項目
解剖生理	1	右脳・左脳の主な働き
	2	脳の主要血管の名称と位置
	3	前頭葉・頭頂葉・側頭葉・後頭葉の主な機能
	4	間脳、中脳、小脳、橋、延髄の機能
	5	脳神経の名称、機能、支配領域
	6	脊髄神経の名称、機能、支配領域
	7	髄液の生産から吸収への循環経路
	8	髄液の正常所見
観察内容	1	意識レベルの観察 JCS/GCS
	2	NIHSS
	3	MMTによる運動機能の評価、観察
	4	瞳孔の観察
	5	知覚機能の観察
	6	小脳機能障害の観察：失調症状、企図振戦、指鼻試験、眼振
	7	局所症状の観察：大脳半球、視床部、脳幹部
	8	頭蓋内亢進症状のポイント：三兆候、クッシング現象、頭蓋内圧の正常値
	9	脳ヘルニアの種類と内容
ルンバール	1	目的と適応（禁忌例の理解）
	2	必要物品の準備、方法
	3	検査介助
	4	髄液の性状、圧の観察
	5	検査中、検査後の観察、看護
アンギオ	1	目的と適応
	2	検査についてのオリエンテーション
	3	検査に必要な伝票、書類の準備
	4	検査に必要な記録、物品の準備
	5	検査前処置の実施、確認
	6	検査パスの記入、確認
	7	アンギオ室への移送方法
	8	外来看護師への申し送り
	9	検査後ベッドの準備・病室の準備
	10	検査後の観察・看護

## 脳神経外科看護に関すること 2

領域		確認・指導項目
画像検査	1	<画像検査の目的> CT
	2	CT-Angio
	3	X-P
	4	MRI・MRA
	5	SPECT
	6	<検査前の準備> CT-Angio
	7	MRI・MRA
	8	SPECT
	9	画像上の脳、血管の位置の理解
	10	画像上の異常所見の理解
手術を受ける患者の看護	1	<手術前日> 必要な書類の確認
	2	手術パスの選択と必要な記録の確認
	3	術前オリエンテーション
	4	手術前日の看護
	5	<手術当日入室> 手術前処置
	6	必要記録の記載
	7	手術室看護師への申し送り
	8	<手術後> 手術後の必要物品の準備
	9	手術室看護師からの申し受け
	10	術直後の患者の看護
	11	創部の観察
	12	肺塞栓予防具の使用法と管理
	13	感染予防対策
	14	安全対策
ドレーン管理	1	脳室・脳槽ドレーンの目的
	2	脳室・脳槽ドレーンの設定管理方法
	3	排液バッグの取り扱い
	4	クランプの方法と観察
	5	硬膜下ドレーンの目的
	6	硬膜下ドレーンの設定管理方法
	7	排液バッグの取り扱い
	8	クランプの方法と観察
	9	硬膜外ドレーンの目的
	10	硬膜外ドレーンの設定管理方法
	11	排液バッグの取り扱い
	12	クランプの方法と観察
	13	スパイナルドレーンの目的
	14	スパイナルドレーンの設定管理方法
	15	排液バッグの取り扱い
	16	クランプの方法と観察

# 脳神経外科看護に関すること 3

領域		確認・指導項目
痙攣時の看護	1	痙攣時の病態
	2	痙攣時の観察：発生部位、種類、拡大の有無、持続時間
	3	二次的な合併症の防止
	4	迅速かつ正確な医師への報告
	5	医師の指示のもとでの与薬
	6	痙攣時、痙攣後の観察、看護
くも膜下出血	1	病態、症状
	2	原因
	3	脳動脈瘤の後発部位
	4	診断、治療方法
	5	観察項目、看護
	6	術前看護
	7	術後看護
	8	再出血が起こりやすい時期
	9	再出血予防の治療方法
	10	血管攣縮の病態
	11	症状
	12	起こりやすい時期
	13	血管攣縮予防の治療方法
脳出血	1	病態、原因
	2	診断、治療方法
	3	出血部位に応じた症状、観察項目
	4	再出血予防の治療方法
	5	起こりうる合併症の予防対策
	6	看護（手術時は術後看護も含む）
脳梗塞	1	病態・原因
	2	脳血栓・脳塞栓の違い
	3	TIA・RINDの違い
	4	心原性脳梗塞の病態、診断
	5	心原性脳梗塞の治療方法
	6	アテローム性脳梗塞の病態、診断
	7	アテローム性脳梗塞の治療方法
	8	ラクナ梗塞の病態、診断
	9	ラクナ梗塞の治療方法
	10	脳梗塞の基本的な症状、観察項目、看護
	11	治療方法
	12	急性期に使用する薬剤と効果、観察項目
	13	高気圧酸素療法

# 脳神経外科看護に関すること 4

領域		確認・指導項目
脳梗塞	14	t-P A治療
	15	t-P A治療中の観察項目、看護
	16	術後看護
水頭症	1	病態、原因
	2	正常圧水頭症の三兆候
	3	正常圧水頭症の診断
	4	治療方法
	5	症状、看護
	6	観察項目
	7	シャント術式の種類とその適応
	8	急性水頭症の診断
	9	治療方法
	10	術後看護
脳腫瘍	1	病態、原因
	2	診断
	3	治療方法
	4	症状
	5	観察項目
	6	看護
	7	術後看護
	8	化学療法に対する看護
	9	精神的ケア（告知に関するケアも含む）
髄膜炎	1	病態、原因
	2	診断
	3	治療方法
	4	髄液刺激症状
	5	症状
	6	観察項目
	7	看護
頭部外傷	1	頭部外傷時の症状
	2	治療方法
	3	頭蓋骨骨折時の合併症
	4	頭蓋底骨折時の合併症
	5	観察項目
	6	看護

# 脳神経外科看護に関すること 5

領域		確認・指導項目
急性 硬膜下 ・ 外血	1	病態、原因
	2	診断
	3	治療方法
	4	症状
	5	観察項目
	6	看護
	7	術後看護
	8	異常の早期発見（意識レベル等の観察）
慢性 硬膜下 血腫	1	病態、原因
	2	診断
	3	治療方法
	4	症状
	5	観察項目
	6	看護
	7	術後看護
	8	二次的合併症の予防